

# 友の会通信

2015  
Vol.  
**33**

～ 群馬県立自然史博物館友の会～

友の会  
自然観察会

## 「博物館周辺のキノコを観察しよう」



6月28日、今年度第一回の自然観察会「キノコの観察」を県林業試験場キノコ係の国友幸夫先生を講師に博物館の南の森で行いました。梅雨の季節、心配された雨も前日には上がりキノコの観察日和となり参加者21名と多くの子供たちも参加してくれました。実験室にてキノコの生態や見分け方、キノコを探す場合樹木の名前が分かると良い事、キノコには名前も付いていないものも多いことなどを学習し、その後、南の山へ入り枯れ木や落ち葉を分解するヒメカバイロタケやハナオチバタケ、樹木と共生するニオイグチモドキ、カブトムシの様な匂いのするニオイコベニタケなど14種のキノコを観察する事が出来ました。こんな身近な所でも多くのキノコが見られたこと、子供たちの真剣で輝いた目とまだまだ観察したいという様子がキノコ好きの私にとっても嬉しく充実した1日となりました。(北爪二郎)



榎木副会長の挨拶



実験室でキノコの学習



キノコを手説明する国友先生



道路わきでキノコ発見



森の中にはたくさんのキノコ



# 平成27年度「友の会総会」開催

平成27年5月10日(日)



川原英雄会長

平成27年度の友の会総会が5月10日(日)午前10時から博物館学習室で行われ、22名の参加がありました。総会では、川原英雄会長の挨拶に始まり、昨年度の事業報告及び決算報告、今年度の事業案並びに予算案について審議しました。

今年度も様々な体験活動を予定しており、会員同士親交が深められればと思います。また、昨年度と同様に博物館来館者に対して、化石発掘体験イベントを提供しようと考えています。会員皆さまの積極的な参加をお待ちしています。

## 平成27年度友の会役員を紹介

今年から、事務局が4名になり、運営委員に佐藤真由美さんが加わりました。

### 《平成27年度の役員・事務局》

【会 長】川原 英雄

【副 会 長】山田 利和・柚木 郁 (運営委員を兼ねる)

【運営委員】堀越 友子・櫻井 昭寛・三友 賢一・北爪 二郎・伊丹 清美・佐藤真由美

【監 事】松井 則幸・瀬下 保

【顧 問】横田 英一・原 浩一郎・池下 隆雄

【事 務 局】柴野 敦雄・市川 光早・小須田健志・月田 典寿

## 友の会講演会

友の会総会後に当館長谷川名誉館長を迎え、友の会講演会を行いました。今回のテーマは「ペンギンもどきとは」でした。南半球で見つかるのはペンギン、北半球で見つかるのは“ペンギンもどき”であり、その理由についても、実物の化石とたくさんの写真を準備され、説明していただきました。また、化石研究の難しさについては「化石が1つ見つかっただけでは、種を同定するのはなかなか難しい。近くに固まってたくさん落ちていればよいのだが…」と話されました。研究者の研究する上での姿勢や研究者同士の仁義についてもお聞きすることができました。



化石を前に話をする長谷川名誉館長と友の会会員



# 私が見つけた自然

友の会会員からの  
おたより

## 「四国で出会った巨大ミミズ」

4月の下旬、四国遍路の旅へ出た時のこと、ここではまだまだ自然が多く残っていると感じた。それは田んぼの用水や小川にメダカやイモリなど多くの生き物を見つけたことである。山道に入りまた驚いた。大きな青いミミズがよろよろと足元に出現、蛇かと思うくらい大きい。思い返せば車に轆かかれていた生き物を時々見かけていたが漸くその正体が判った。地元の人に尋ねると「かんたろう」との事で正式には「シーボルトミミズ」といい名前の由来はシーボルトが持ち帰り標本とした事による。

(北爪二郎)



## 「アリゲモ」

北三公園(高崎市)で小さな蟻の行列をみました。その中に一匹大きな生き物がいました。クロオオアリかと思いみてもみると、足が前にたたんであり、正面に眼が4つあったので、蜘蛛だということがわかりました。アリゲモは外国にしかいないと思っていたので驚きました。

江原 <sup>さく</sup>朔玖(小3)



## 私が見つけた自然 募集中

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録し、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館の友の会へ封書またはメール(事務局アドレス:kosuda@gmnh.pref.gunma.jp)でお送り下さい。

今回は、小学生の会員から応募がありました。会員同士、すてきな自然の情報交換の場になればと考えています。

なお、応募していただいた方全員にオリジナルポストカードを、友の会通信で紹介させていただいた方には、すてきな賞品をプレゼントします。

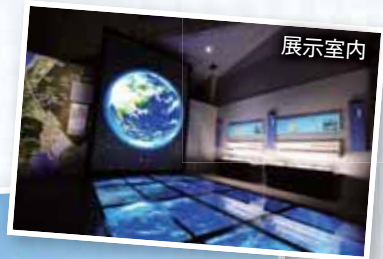
## 友の会視察研修旅行のお知らせ

今年度は、新潟県糸魚川市にある「フォッサマグナミュージアム」をメインに研修旅行を予定しています。ここは、2013年に世界ジオパークの再認定を受けた糸魚川世界ジオパーク内にあります。期日は、11月8日(日)です。募集案内は、後日お知らせします。定員は45名を予定しています。応募者多数の場合は、抽選となります。

### 【フォッサマグナミュージアム】

1994年4月に糸魚川の美山丘陵にオープンしたフォッサマグナミュージアムが、展示物を大幅に増やし最新の展示方法を駆使して2015年3月にリニューアルしました。ヒスイ・石灰岩

・フォッサマグナ・焼岳など5億年におよぶ糸魚川の大地の物語を余すことなく紹介した博物館です。



展示室内



フォッサマグナミュージアム

## これからの友の会イベント

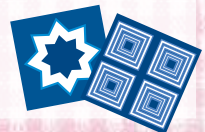
### 【藍染めを体験しよう】

- 日時／12月20日(日)  
10:00～12:00
- 場所／高崎市染料植物園



■内容／藍染によりスカーフやバンダナなどの作品を作ります。体験教室後は、野外の植物園や室内の生態園を観ることができます。

※詳しくは後日お知らせします。



## 友の会入会のお知らせ

### 年会費

- ①一般会員……………3,000円
- ②高・大学生……………2,000円
- ③小・中学生……………1,000円
- ④家族会員……………5,000円
- ⑤賛助会員(1口)………10,000円

- ◎10月以降の入会は、年会費が半額になります。
- ◎入会されますと、博物館入館料が無料になるなど、多数の特典があります。

## 新作 友の会オリジナルノート

友の会オリジナルの自由帳ができあがりました。

A4サイズで定価は300円(税込み)です。

ミュージアムショップでお買い求めできます。

売り上げは、友の会費に入れさせていただきます。



## 賛助会員(7月末現在) 以下、法人・個人の方に趣旨賛同いただきました。ありがとうございました。

野口会計事務所・(有)山田会計・(株)三栄商事・(有)市川会計事務所・(株)群馬小型運送・齋藤紀恵子・(有)松井会計  
佐藤春利・川原英雄

## 編集後記

今回の「恐竜時代の海の支配者」展で12年程前、やっと取れた休暇にフタバズキリュウの発見地を選んで観に行った時のことを思い出しました。大きなノジュールが幾つも入ったその地層は、いつ迄眺めていても興味の尽きないものでした。今は、福島第一原発から30Km圏内のようなのですが、この辺には、素晴らしいお宝の化石がまだ幾つも眠っていることでしょう。

(三友賢一)